

マスコミから見たこの1年 10大ニュース



東奥日報社 野辺地支局
支局長 兼平 昌寛さん
TEL 0175-64-2156
FAX 0175-64-1159

兼平さんの心に残った10大ニュース

【横浜町】

- ① 2年連続の菜の花フェスティバル、菜の花マラソン中止。「なのはな小路」開設
- ② 「横浜防災除雪ステーション」始動
- ③ 道の駅よこはま「菜の花プラザ」北側の駐車場とトイレ・休憩施設完成・開放
- ④ 八幡神社本殿の修繕工事了。「遷座祭」開催
- ⑤ 町のキッチンカー「おでかけにキッチン」お披露目

【県内外】

- ① 新型コロナウイルスの影響続く。感染拡大の影響で各地のイベントが中止に
- ② 東京五輪・パラリンピック開催
- ③ 「縄文遺跡群」世界遺産決定
- ④ 青銀、みち銀が2022年の経営統合合意
- ⑤ 8月に上北、下北で大雨被害

新年、あけましておめでとうございます。昨年4月、東奥日報社野辺地支局に赴任してきて以来、横浜町の皆さまにお世話になっております。取材の際は、いろいろとご協力いただきまして、大変ありがとうございました。一方、新型コロナウイルスの影響によって、多くのイベントが中止となり、皆さまにお目に掛かる機会が限られ、心苦しく思っております。

さて、10大ニュースですが、横浜町、県内外ともそれぞれ、新型コロナ関連のニュースが1位となりました。ただ、横浜町に関して言えば、道の駅北側のトイレ・休憩施設の完成、「防災除雪ステーション」始動など、防災という意味では大きく前進した1年だったと思います。関連した訓練などに懸命に取り組む町民の姿が印象的でした。

昨春、赴任してきたばかりで不安な私の心を癒やしてくれたのは、一面の菜の花畑でした。今年は新型コロナの感染を気にせずイベントを楽しめる、菜の花のような明るい1年であればと祈っております。本年も宜しくお願いいたします。

藤村さんの心に残った10大ニュース

【横浜町】

- ① 菜の花フェスティバル中止。新たな試みとしてのなのはな小路を実施
- ② 横浜町内でサプライズ花火を打ち上げ
- ③ 横浜町内のコンビニで交通死亡事故発生

【国内外】

- ① 東京五輪を開催。日本人選手が活躍
- ② 新型コロナワクチン接種進む
- ③ 大湊線が開通100周年迎える
- ④ 衆院選を実施。自民が青森県内の議席を独占
- ⑤ むつ市、風間浦村で大雨被害
- ⑥ 大谷翔平がメジャーMVPに
- ⑦ 東京都などで電車内の無差別殺傷相次ぐ



デーリー東北新聞社 野辺地支局
支局長 藤村 大地さん
TEL 0175-64-3210
FAX 0175-64-1333

皆さん、明けましておめでとうございます。デーリー東北新聞社野辺地支局長の藤村大地です。2021年も取材で町内の方にお世話になりました。あらためて、お礼を申し上げます。

21年も前年から引き続いて、新型コロナウイルスと向き合う1年になりました。感染拡大に配慮して、多くのイベントが中止に追い込まれるのは悲しかったです。ただ、全て自粛ムードだった20年に対し、21年はさまざまな工夫を凝らしてなんとか開催を模索する自治体や団体も多かったように思います。横浜町の菜の花フェスティバルも結果的には中止になってしまいましたが、菜の花開花期間中は大豆田地区に人と人の距離感に配慮した散策路「なのはな小路」が設置されるなど新たな試みが好評でした。関係者の努力は私たちに元気（と原稿のネタ）を与えてくれたと思います。元気を与えてくれたものといえば、東京五輪も思い出深いです。1年延期されるなど紆余曲折がありましたが、日本人選手が躍動する姿には胸が躍りました。スケボーなど自身が体験したことがないスポーツでも、テレビに見入ってしまいましたね。弁当廃棄問題など運営が完璧と言えるわけではなかったですが、五輪は楽しかったなというのが本音です。

コロナと言えば、ワクチン接種が大きく進んだのも個人的には良かったと思っています。そろそろ3回目という方も多いのではないのでしょうか。全てを防げるわけではないですし、オミクロンなど新たな変異株も登場しているので心配も多いですが、できる予防対策は全て取っておきたいですね。マスク着用や手指消毒も忘れずに、2022年を良い年にしていきましょう。そして、私自身は地域の明るいニュースを届けられるように一層頑張りたいと思っています。よろしく申し上げます。